新運転東京

第90号
（通巻355号）
2021年2月25日

発行人
新産別運転者労働組合
東京地方本部
（略称・新運転東京）
編集兼発行人　川村　勝
〒110-0003
東京都台東区根岸
3-25-6
TEL03-5603-1300
FAX03-5603-5300

新型コロナ対策下で執行委員会相次いで開催！

第3波の新型コロナ禍拡大防止策として1月14日から2回目の緊急事態宣言が出され3月7日まで延長された中、1月28日、2月18日と相次いで執行委員会が一部持ち回りという形で開催された。

第891回においては、緊急事態宣言の発動による組合に於ける機関会議等の実施について以下の重要な諸事項が決定された。

＊専従役員会議については定期的な実施を継続する。

＊執行委員会は原則、11月を除き毎月の実施を目指すが、新型コロナの感染状況を確認し、一部持ち回り運営の継続を目指す。

＊評議員会は組織財政改革の観点からも7月と10月の開催を感染状況に応じて一部持ち回りの運営を検討する。

＊新規加入者講習会は感染状況を確認して、暫くの間原則的に各支部での実施を継続する。

＊運営委員会又は支部・タクシー部での緊急を要する臨時的な集会等につては感染防止に努め必要最小限の人数で実施する。

＊今期の定期大会は感染状況に応じて8月までに大会代議員の定数を執行委員会で決定する。

＊その他の会議・集会については原則的に執行委員会にて協議をするが、緊急を要する場合には執行委員長の判断に一任する。

また、新型コロナ感染状況報告と2月期のコロナ給付金の支給延長を一般会計予算の予備費からも支出する確認がされた。

そして第892回では、開会に当たり、菅原委員長から、元執行委員長の草刈脩二氏が2月12日、永年個人タクシー部書記を務めた小林初枝氏が2月14日と相次いで死去されたとの報告があり、執行委員全員でご冥福をお祈りし、黙禱を捧げた。

その後、恒例の行動報告と労供報告から第891回執行委員会議事録を確認した上で、主な審議事項として、組織財政委員会の審議内容についての議論がなされた。詳細は二面に別掲とするが、前回の執行委員会で決定した要望事項に対する第二回組織財政委員会の議事録をもとに議論となり、その決定内容を次回の評議員会から大会に諮っていくこととなった。

その結果、一昨年の大会で北支部から出されたタクシー部に関する動議について、一定の解決に向かう道筋がつけられたことになった。

コロナ禍の新年を迎えて！

執行委員長　菅原　元

遅ればせながら改めて新年のご挨拶を送ります！

とはいっても、昨年来の新型コロナウイルス感染拡大による2回目の緊急事態宣言が去る1月13日、11都道府県に出され、その期限が更に3月7日まで延長となり、マスク着用、在宅勤務、外出自粛、観光・営業停止等などコロナショックドクトリンともいえる状況が続いている中、組合員の皆さんには、エッセンシャルワーカーとして日々奮闘されていることに心からの敬意を表します。

まさにウイルスによる健康と命の危機から経済崩壊による生活と暮らしの危機が重なり、医療崩壊を防ぐために自宅待機を強いられている患者の存在が社会問題となっているにもかかわらず、入院を拒否したり個人や時短命令に違反した業者に罰金刑を科すという特別措置法と感染症法の改正案が今の通常国会で成立してしまいました。

この様に私たち国民には不要不急の外出自粛を要請しながら自民党議員の相次ぐ飲食接待や菅首相長男の総務省幹部との裏会合接待など腹が立つことばかりですが、これもコロナ関連ストレスかと血圧上昇を抑えている日々です。

さて新年を迎えた東京地本の機関会議ですが、昨年同様「三密」を避けるために参加者を限定して開催していますし、毎年恒例の本部と支部の旗開きは残念ながら中止となっています。

そうした不燃焼極まりない一年が始まったわけですが、昨年大会で決定した運動方針補強案の実現に向けて粛々と進んでいく所存です。具体的課題としては労働者自主福祉運動の強化に関連して組織の高年齢化の対応を協議し、「こくみん共済COOP」の慶弔共済の見直しと一昨年来の懸案となっているタクシー部の今後の運営、清掃事業で働く三者間有期供給契約者などについても、組織財政委員会を適宜開催していくことになっています。

今年は新型コロナ禍を克服して平和と自由、人権と民主主義のニューノーマルに向かって労供事業を武器に組合員・役員一丸となって頑張っていきましょう！

新運転中央本部定期全国大会開催延期を決定！

東京地本では、第31回の中央本部大会に対して選挙管理委員長に椎葉書記次長を選任し、代議員選挙告示、立候補受付を行う一方で、執行委員会において「コロナ感染防止の観点から大会代議員を通常の半数にして開催すること」を開催場所の東京地本として決定し、中央本部に申入れをしてきた。

その時点の話し合いでは、大会告示と代議員告示を変更して再告示するのではなく、2月末から3月の緊急事態宣言下におけるコロナ禍の状況によって延期か代議員の委任状参加などを判断するとの回答だった。

そして、既に代議員が決定した2月22日に、中央本部の太田書記長から各地本の委員長をはじめ、各執行委員と連絡をとり、いわゆる持回り執行委員会という形式で、3月14日開催することと告示していた第31回定期大会を6月12日（土）午後3時に延期するとの報告がなされた。

それは労供労連の総会を日曜日とする関係で土曜日開催となり、今回決定した代議員が参加となる。

福島原発事故10年 さよなら原発首都圏集会 3月27日に日比谷野音で開催！

来る3月11日、東日本大震災による福島第一原発事故から10年目を迎える。

地震と津波による電源喪失から冷却不能によるメルトダウン、連続爆発などの記憶の風化が進む中、いまだに多くの人々が故郷を奪われたまま厳しい避難生活を余儀なくされている。

そして、圧倒的な新型コロナ関連情報の陰で放射能障害が多発している。

更に、安倍政権を引き継いだ菅自公政権は、事故の収束が見えない中で、人間の暮らしと命、自然環境の破壊につながる大量の放射能汚染水の海洋投棄を計画し、脱炭素社会を錦の御旗に掲げて原発・核燃料リサイクル政策を強引に推し進めようとしている。

集会を主催する「さようなら原発1000万人アクション実行委員会」は、故大江健三郎氏、鎌田慧氏、落合恵子氏らの呼びかけで2011年に結成され、脱原発運動の中心を担ってきた。

新運転も参加してきたその運動と世論の広がりによって今や原発は廃炉の時代となっている。

第31回定期全国大会東京地本大会代議員名簿

定数10名
2021年2月16日

東支部		北支部		西支部		南支部		タクシー部	
No	氏名	No	氏名	No	氏名	No	氏名	No	氏名
1	尾﨑　勝治	1	鴨沢　　城	1	坂上　洋雄	1	樋口　　浩	1	田村　正光
2	山本　高正	2	赤川　彰三	2	近藤　政則	2	山崎　芳徳	2	中江　雄治

支部・タクシー部便り

■東支部

まず初めに、清掃における令和2年度年末年始対策作業大変お疲れさまでした。今回の年末対策作業はコロナ禍の中で行われ、ごみの排出量も例年とは大きく異なり、収集が大変な中、大きな怪我や事故もなく無事に乗り越えることが出来たこと心から感謝申し上げます。

そして、1月8日から発令された第2次緊急事態宣言がまもなく2か月を迎えようとしておりますが、前回の緊急事態宣言では人や車が激減したことを現場でもハッキリと実感しましたが、今回は休日ともなると出かけている方達を沢山見かけることがありました。テレワーク等で家からあまり外出しない方も沢山いて、知人からの話では社会との距離を感じたり、人との会話が減っていることでストレスを感じることが多くなってきたそうです。

そんな中、政権を見渡せば、森喜朗前東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長の女性蔑視発言により国内外が大騒ぎになり、結局橋本聖子さんが新委員長に収まった次に菅総理大臣の長男と総務省幹部接待問題が拡大し、世間を騒がせています。そして、ワクチン接種に向けて様々な事が国会で検討され、この17日からやっと医療従事者を中心にワクチン接種が始まりました。ワクチンに関しても世界各国で対応が違い安全性に関して個人的には多くの疑問がありますが、今後様々な理由により摂取しない、出来ない人に対しての差別が起きなければいいなと思っております。

東支部の話題ですが、前回書かせていただきましたが、今年の旗開きは中止となり、代替えとして各組合員に対しクオカードを配布いたしました。ほぼ全員にいきわたっている状況ですが、若干名休暇等によりお渡し出来ていない状態でありますので該当者の方は支部まで取りに来ていただきますようお願いいたします。

そして、窓口就労に関してですが、毎日30件前後の要請があります。多い時では朝配車も含め50件以上の日もあり、年末対策に迫る勢いで要請に応えられない状況の日もあります。

各組合員のご都合があるかと思いますが、週末の絡む休暇取得に関してご検討とご協力のほどよろしくお願いいたします。

暦は2月末を迎え、いよいよ花粉シーズン突入で春に向けて暖かい日も増えてまいりましたが、依然朝晩は冷え込みが多い日もあります。三寒四温に対処するためにも適度な服装、花粉症の方は合わせて適切な薬等で乗り切り、桜舞う春を迎えていただければと思います。

共に頑張りましょう！

執行委員　山本高正

■北支部

今年最初の支部だよりということですが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大を承け、令和2年4月7日から5月6日まで一ヶ月間の緊急事態宣言から一年が経とうとし、現在は二回目となる緊急事態宣言の中にいます。

連日ニュースやワイドショーで、今日の感染者数や死者数が報道に危機意識が少し薄れてきている様に感じます。就労先に顔を出すとマスクを外し距離も取らずに会話をしている光景をよく目します。一時期の拡大は収まりつつありますが高止まりの状況であり、ここで気を抜いてしまいますと今までの努力が水疱に帰してしまいます。

今年に入り清掃事業所からのクラスターの報告を受け危機感をつのらせていますが、それ以降にタクシー部組合員集会を開催しますので、こちらもご協力のほどよろしくお願いします。

引き続き、コロナ感染防止対策を怠ることなく頑張りましょう！

タクシー部長　田村正光

■西支部

花粉が多く飛ぶこの時期、対策は万全でしょうか？

特にインフルエンザに関しては未だ感染者がでたとの報告は受けていません。これも新型コロナウイルスの影響かわかりませんが、うがい手洗い、アルコール消毒、マスク着用等、日頃から意識していることから感染者がでていないだろうと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、支部の状況はと言いますと、一月末までは忙しく二月に入り暇になりました。そこで、就労日数の少ない組合員の為に、一般雇用保険適用組合員に有給休暇を使用していただき、窓口に仕事を廻していただきたい旨のお願いをしましたが、多くの組合員の皆様のご協力もあり助かりました。本当にありがとうございました。

そんな中、古紙回収業務の組合員が積み込み作業中に荷台から落下し、労災事故が発生しました。このような案件は過去にも起きていましたが、今回は大した怪我がなかったということで直ちに報告が無かったことは残念でした。そして、過去には車両移動中に作業員がステップに足をかけ次の収集現場に向かっている現場もあったのですが、東京都では、このステップ乗車による移動は禁止されています。つい先日、沖縄県でステップ乗車しながら移動中、振り落とされ意識不明の重体になる事故が起きました。

このように、作業員がステップ乗車の移動、荷台の上に乗りながら走行することは、原則、道路交通法に違反することになります。勿論やらなければいいわけですが、その上で、やらなくて済むように業務改善しなければならないと思います。

そこで今週、練馬区のリサイクル所管部長に対して、池尻誠二区議会議員同席の下、改善の要望書を提出します。これ以上、労災事故を出すわけにはいかず、気を付けて下さいだけの改善策では前には進みません。安心安全作業をしていただくためにも今後、変わらないから、会社に申し訳ないからではなく、些細な事でも私の方に連絡ください、宜しくお願い致します。

支部長　浦田　司

■タクシー部

最近、「寒暖差疲労」という言葉を耳にする機会が増えました。寒暖差が激しく、大きな気温の変化に身体がついていかない状態で、頭痛や目まい、肩こりなどの症状が出るようです。対策としては、エアコンなどで一定の温度を保ち、上着の重ね着などで体温調整をする。バランスの取れた食事を心がけ、良質な睡眠をとること等が効果的だそうです。最近疲れやすいと感じる方は、お気をつけください。

1月より発出されております緊急事態宣言は、医療機関の逼迫状況を考慮し、2月末まで延長されました。

各支部のコロナウイルス感染状況を委員会等で受けると着実に清掃業界は感染者が増え続けています。

北支部に関しては濃厚接触あるいは会社の判断により自宅待機になった者が30人を超え、陽性者も2名、幸いにも症状が軽くすでに職場復帰をしています。

我々組合も平均年齢が上がり特に疾患を持っているものは、後遺症や亡くなる確率が高くなります。

自分を守ることで大切な家族、友人そして組合員を守ることに繋がります。今一度、徹底した感染防止対策をして頂きたいと思います。

このような状況下で機関会議も思うように進まず苦慮していますが、我々にとって今年から来年にかけて大事な問題が山積しています。より良い労働条件を勝ち取るため共に頑張りましょう。

北支部　鴨澤　城

■南支部

ハンバーグを注文したのに、餃子が運ばれて来た。コーラを頼んだら、アイスコーヒーが出て来た。そんなレストランがあったらどうだろう。

「注文を間違える料理店」何年か前から期間限定で認知症の人が接客する店として開店し話題になった。実際に6割以上のテーブルで間違いがあったという。店先には認知症の人が働く旨を掲示している為、来店した客も間違いを温かく受け入れるそうだ。客の9割が「又ぜひ来店したい」と答えているそうだ。「間違える事を受け入れて、間違える事を一緒に楽しむ。そんな、ほんのちょっとづつの寛容さを社会の側が持つ事が出来たら」と出店の動機を語っている。

この店は、いわば歩み寄りの場といえよう。

間違いを恐れて周囲の輪から離れる認知症の人と、認知症の人への接し方に戸惑う人。だが心を開いて歩み寄れば互いの間に温かな感情が生まれる。人間の不思議さである。

私は思うに、完璧な人などいないし、間違えたくて間違える人もいない。仕事の様々な場面で境遇の異なる相手を理解する寛容さ、温かく見守るゆとりをもつ。そうした心を身の回りから広げれば私達も仕事に対しても仲間に対しても少しずつ変わっていくと思います。

感染減少はしているもののまだまだコロナウイルスがなくなった訳ではありません。清掃、生コンに従事している組合員の皆様には大変な事と思います。身体を大切にして日々の仕事ガンバッテ下さい。

支部長　樋口　浩

新運転個人タクシー部 4月末解散を決定！

去る1月25日、タブレット根岸会館5階会議室において個人タクシー部の臨時総会が開かれ、組織人員の激減と前理事長の急逝等の諸問題について討議した結果時期を定めないまま組織を解散する決定がされた。

そして2月22日午後1時から、個人タクシー組合員12名中、11名が参加して全体会議が開催され、この間、村上前理事長の急逝を受けて責任者を引き受けてきた熊谷登氏を中心に今後の処遇について協議がなされた。その結果、具体的日程としては4月末に解散することと今後の組合員処遇について4か所に分散所属することが決定された。

尚、この間長年にわたって個人タクシー部の書記でまとめ役だった小林初枝さんが、闘病の甲斐なくこの2月14日に85歳で亡くなったことと家族葬で送られたことも報告された。

小林さんは書道家としても優れた方で、新運転中央本部の新年号一面の「謹賀新年」の筆字を書いていただいてきた。謹んでご冥福をお祈りいたします。

組織財政委員会相次いで開催！

昨年大会の補強方針で確認された「組織財政委員会」が1月14日、2月4日と開催され、二回ともタクシー部の件で議論された。

第一回の委員会では、タクシー部の組合費算定基準に関して、トラック支部の算定基準に準ずるとの決議がなされたことを受けて、第891回執行委員会では次回の委員会で審議すべき事項として以下の諸点が確認された。

具体的には「タクシー部組合員の帰属意識の向上」「タクシー部に於ける財政的な状況」「組合員増加の厳しさとボーダーラインを定める必要性」「タクシー部の組合費算定基準」などの諸項目について協議すると共に今後の評議員会から定期大会における審議によってタクシー就労組合員の組合費を定めていく事になると決定された。

そして、第二回目の委員会では、その執行委員会の要望を受けて議論がなされ、現状確認と今後について一定の方向性が確認された。

具体的には、田村タクシー部長から現在のタクシー就労組合員は115人との報告と供給先の事業所に協力を頂き2人～5人程度の組合加入希望者と近日中に面接する予定がある報告を受けた上で議論となり、以下の諸点が確認された。

＊近年に於ける組合員の激減により、タクシー部の財政は極めて困難であり、現状では組織の運営が単独では維持されていない。

又、そうした状況に鑑みて次回の大会後にタクシー就労者が他の支部へ移籍する方向性が確認された。

＊支部へ移籍後のタクシー就労者の組合費はトラック支部のランク別組合費が適用される事。

＊上記期間後にタクシー就労者が230人以上となり、単独運営での可能性がある場合には機関会議等で協議する。

そして、3月に開かれる第3回からの組織財政委員会は、慶弔共済等の改正案を議論することになっている。

追悼　元執行委員長の草苅脩二氏　去る2月12日死去。

故草苅脩二氏は、新運転に1968年9月加入。その後、高度成長期から二度のオイルショック不況期、そしてバブル期の29年間組合員としてタクシーから生コン、清掃事業へ就労。その後、1997年11月に当時混乱していた足立支部の立て直し役として支部長に就任。そして、2002年の組織財政改革による城北支部と足立支部統合後は、北支部長として再任を重ねた。その後、2013年11月に開催された第60回東京地本定期大会において執行委員長に就任、同時に新運転中央本部執行委員長も兼任された。そして二期務めた後の2017年に執行委員長を退任し顧問に就任。そして、一昨年8月に新運転60周年記念事業の特別慰労金制度を利用して東京地本を脱退され、闘病生活を送っていた。謹んで哀悼の意を表します。